

參考資料

アクセシブルな書籍・電子書籍等の例（視覚障がい者等が利用しやすい書籍）

1	点字図書 (用語集より再掲)	6つの点を組み合わせて、文字や記号、数字、アルファベットを表す点字で記された図書。 点字と点図（点を使って図や絵を表したもの）を使った点訳絵本もある。
2	録音図書 (用語集より再掲)	耳で聴いて読書できるように、墨字（活字）の文章を声に出して読み、その音声を収録したもの。再生機を使用する。
3	拡大図書 (用語集より再掲)	弱視の人などが読みやすいよう、通常の書籍より文字や図を拡大して製作された図書。
4	触る絵本	さまざまな材料を用いて盛り上がった形の挿絵を作り、それを貼り付けるなどして、指で触って絵が分かるようにした絵本。
5	布の絵本	触る絵本の一つで、厚地の台布に絵の部分を縫い付けたり、貼り付けたりし、マジックテープやボタン、ファスナー、紐等を用いて、留めたり、外したり、結んだりできるようにしたもの。
6	LLブック (用語集より再掲)	「LL」とは、スウェーデン語の「Lattlast（分かりやすく読みやすい）」の略で、「LLブック」は、読むことに困難を感じている人に合うよう、分かりやすく読みやすい形で書かれた本のこと。 (「Lattlast」の表記は、正しくは2つの「a」の上にウムラウト記号が付く)
7	デイジー図書 (用語集より再掲)	「デイジー」とは、「Digital Accessible Information System」の略で、「利用しやすい情報システム」のこと。デイジー図書の特徴は、目次から読みたい章や節、任意のページに飛ぶことができる、最新の圧縮技術で一枚のCDに50時間以上も収録が可能である、音声にテキストや画像を同期させることができる等がある。
8	音声デイジー (用語集より再掲)	音声データに章や節、任意のページに飛ぶことができる機能を付加し、デイジー再生機等で読み上げさせて聴くことができるもの。
9	テキストデイジー	本文のテキストに見出し等の文書構造や画像を付加したもの。テキストデータに章や節、任意のページに飛ぶことができる機能を付加し、デイジー再生機等の音声合成機能で読み上げさせて聴くことができる。
10	マルチメディア デイジー	本文のテキストに音声データと見出し等の文書構造や画像を付加したもの。章や節、任意のページに飛ぶことができる機能を付加しているほか、音声を同期させることで、読み誤りなく作成できる。

11	テキストデータ	文字コードだけで構成された文字列や文書のデータ。ワープロデータのように書体や行間などの情報を含まないもの。
12	電子書籍 (用語集より再掲)	電磁的に記録され、電子端末機器を用いて読めるようにした書籍。動画や音声再生可能なものもある。電子書籍には、あらかじめ固定されたレイアウトで表示される「固定レイアウト型」と端末の画面に合わせて自動表示され、文字の大きさも変更できる「リフロー型」がある。
13	オーディオブック	書籍等の文章を読み上げ又は口演し、必要に応じて効果音及び BGM等を付与することにより、利用者が耳で聴くことを通じて情報を得られる形式の電子音声コンテンツ。文字を目で読んで情報を得られる電子書籍とは異なり、オーディオブックは利用者の視界を占有しないこと及び発音、抑揚等の発声技術を駆使した表現が可能となること等の特徴がある。

読書支援機器の例（視覚障がい者等の読書を支援するための機器（道具））

1	デジプレーヤー（録音再生機器）	デジ図書（電子書籍）を音声で再生して聴くための機器。パソコンやタブレット、スマートフォンで再生できるようにするアプリケーションなどもある。
2	アプリケーション	文書編集、表計算、ゲームなど、特定の目的に使用するために作成されたコンピュータソフトウェア。アプリともいう。
3	拡大読書器 (用語集より再掲)	カメラで撮影した文字や画像を拡大したり、背景と文字を白黒表示することにより、読み書きを支援する機器。据置型と持ち運びができる携帯型などがある。
4	音声読書器	印刷物を読み取り、文字を音声で読み上げる読書機器。拡大が可能な機器もある。
5	活字文書読上げ装置	音声コードの情報を読み上げる機器。
6	電子書籍リーダー	電子書籍を読むための機器。
7	リーディングトラッカー	ページの読みたい行にあてることにより、視点を集中して読書を行うことができる道具。
8	ルーペ	小さな文字を大きくしてみるレンズ。持つルーペ、携帯用のルーペ、置き型のルーペやライトを搭載したものなどもある。